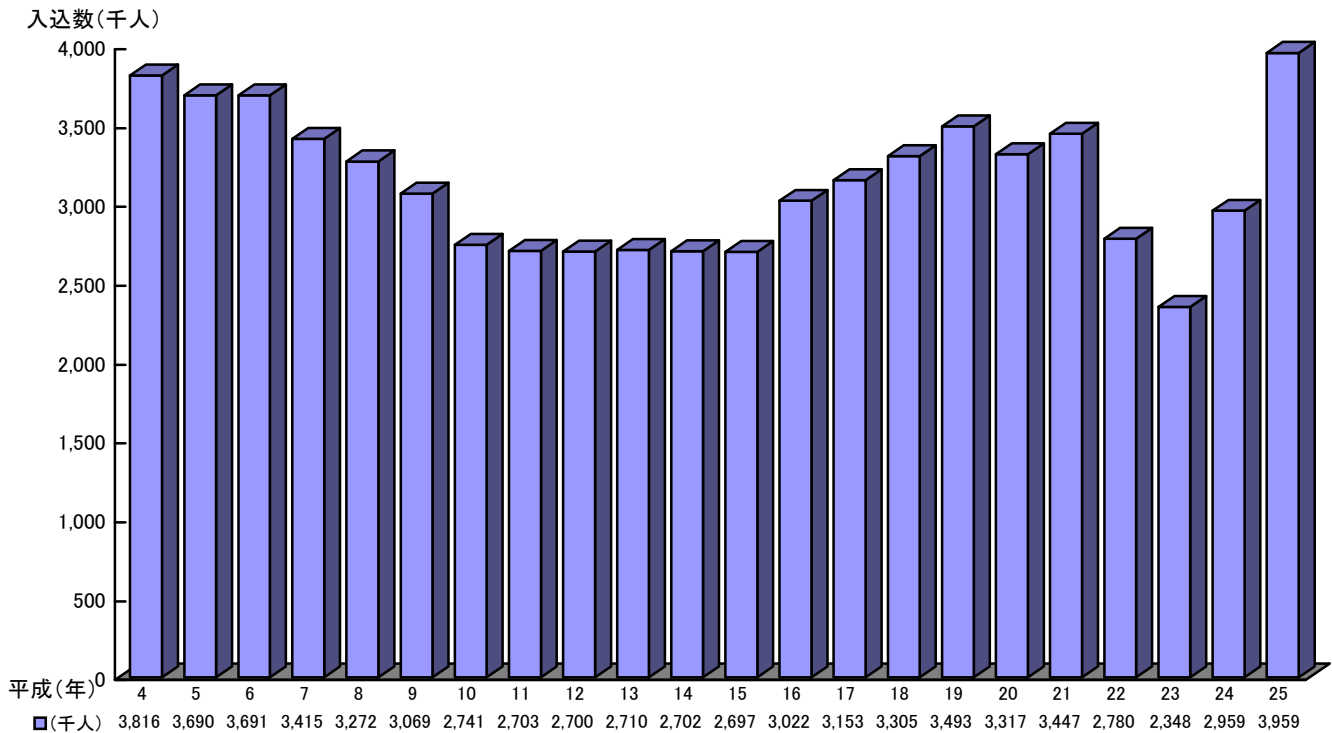


平成 25 年会津若松市観光客入込みの概況について



平成25年に会津若松市を訪れた観光客の総数は3,959千人と、前年よりも1,000千人(対前年比 133.8%)の増加となり、東日本大震災前と比較しても、大幅な増となっております。

これは、震災以降行なってきた各種イベント、観光物産展等への積極的な出展、モニターツアー、旅行エージェント対策、ホームページをはじめ各種機会をとらえて実施した会津の安全性や多様な魅力の情報発信など、様々な観光復興に向けた取り組みに加え、何より、大河ドラマ「八重の桜」放送の効果が最も大きかったものと認識しております。

入込み数の積算には、宿泊者数に加え、市街地日帰入込み数の積算として観光施設入込みの前年比が考慮されており、代表的な観光施設である、鶴ヶ城天守閣は前年より388千人(対前年比 169.9%)増となるなど、大幅に増加しております。また、「ハンサムウーマン八重と会津博大河ドラマ館」には611千人(平成25年1月から12月までは、593千人)の来館がありました。設置期間が1年間であることから、来館者数を入込数に加えることにより、経年での入込み数の変動に大きな影響を及ぼしてしまうため、来館者数は加えておりません。